

事業再構築案アンケート結果

事業再構築案とスケジュール案に関して、市民アンケートと職員コメントを実施し、合計12件の意見が寄せられた。

1 実施概要

実施種別	市民アンケート	職員コメント
回答方法	郵送、ファクス、電子メール、市ホームページのアンケートフォーム、資源リサイクル課窓口（クリーンセンター、リサイクルプラザ）窓口への直接提出	庁内メール
対象者	(1)市内在住・在勤・在学の方、(2)市内に事務所・事業所を有する方(法人を含む)、(3)本件に利害関係を有する方	市職員
意見数	8名、10件	1名、2件
募集期間	令和6年12月13日（金）～令和7年1月14日（火）	

2 意見の概要

○市民アンケート

分野	ご意見
リサイクルショップ	○運営見直しに賛成。定期的な屋内フリーマーケットに期待。 ○出品ルールの制約が気になる。ショップの棚がすいている原因なのでは。 ○簡単に利用できるようにすべき。出品のルールが緩和されたら良くなるのでは。 ○出品の自由度を上げて、若い人でも利用しやすいようにして欲しい。
リサイクル家具	○家具の無償譲渡は良いと思う。家電品にも期待。民間サービスとの連携を検討しても良いのでは。 ○開所している時間に行けないことも多い。民間サービスの活用も良いと思う。
啓発展示	○あらゆる年齢層に分かりやすいようにして欲しい。
スケジュール	○ショップの新しい運営方法はすぐに始めて欲しい。 ○年1回の見直しは良いと思う。変化が必要。利用者の声を拾い上げて欲しい。

分野	ご意見
制服 リユース	○制服のリユース事業に力を入れて欲しい。民間サービスでは出品が少ない。 ○現状の制服リユース事業は利用しづらい。他自治体の例を参考にして欲しい。
その他	○高齢者の利用が多い印象。若年層にも利用しやすいように、情報収集しやすいようにして欲しい。

○職員コメント

分野	ご意見
リサイクル ショップ	○従来の事業とは違った新たな発想で行うほうがよい。利用者間で売買の伴わないシンプルな交換システムが良いのではないかな。
リサイクル 家具	○従来の枠組みで実施するなら、結局従前どおりの事業になる。修理を前提としないシンプルな事業形態を検討してはどうか。

※それぞれの意見と市の考え・対応は、別紙参照

No.	分野	ご意見	市の考え・対応	区分	修正の有・無
1	事業再構築案 (リサイクルショップ)	リサイクルショップの運営見直しは嬉しいです！常設フリマがどんな感じかわからないですが、定期的に屋内フリマが開催できたらいいと思います。現在は出品しにくい感じなので、自分の納得できる価格にしたり、楽しく買い物できると良いと思う。	出品ルールの制約を緩和してほしいとのご意見を多くいただいております。今回、抜本的な見直しをしたいと考えています。今後、詳細な見直し案を検討しますので、いただいたご意見を参考にまいります。	市民 アンケート	無
2	スケジュール案	新しい運営(フリマ)はすぐに始めて欲しい	令和7年度に運営方法の検討、早ければ令和8年度に新しい形態で開始したいと考えています。	市民 アンケート	無
3	事業再構築案 (リサイクル家具)	家具の無償譲渡はいいと思った。家電の無償譲渡もあっていいと思う。ジモティと提携して運営してる自治体もあるそうなので、朝霞もジモティと連携を検討してもいいのではないかな。	家具の無償譲渡は、早ければ令和12年度開始で検討しています。現在でも、売れ残ったものは無償譲渡としている例もあります。また、ご意見にあるような、民間サービスとの連携も導入を目指して検討してまいります。	市民 アンケート	無
4	事業再構築案 (リサイクルショップ)	リサイクルショップ(リユース)について現状の方法で概ね満足していますが、出品の種類・点数に限りがある点が続いています。全体的に品物が少なく棚がスカスカなことが多く、実際に出品を試みたら1種につき2点までなど規制があることがわかり、それが原因だと感じました。また、売れなかったものは値段を下げれば再出品可などは不可能なのではないでしょうか。	出品ルールは、開所当時に検討して決めたものが多く、その後の状況変化に対応しきれていない面もあったと考えています。今後、詳細な見直し案を検討しますので、いただいたご意見を参考にまいります。	市民 アンケート	無
5	事業再構築案 (リサイクルショップ、啓発展示ほか)	リサイクルならば、みんなが簡単に利用できるようにすべきだと思う。活発な事業展開をしていくのなら、もっと商品の流れや受け入れをスムーズにしてほしい。1人何点までとか、1ヶ月で回収、清算とか、枠をはずしてほしい。リサイクルを学ぶ事も、子供から大人までわかりやすくしてほしい。ゴミの分別にしても、再利用方法にしてもまだまだ十分で無い気がする。朝霞の地域性や、昔ながらの知恵なども取り入れたリサイクル事業をして欲しいです。	今回の見直しは、誰もが手軽に実践できる3Rを大きな目標としています。リサイクルショップの詳細な見直し案の検討では、いただいたご意見を参考にまいります。また、リサイクルなどの学習については、現在計画中の新しい施設で、分かりやすく学べるように整備してまいります。	市民 アンケート	無
6	スケジュール案	年に1回の見直し 良いと思います。時代、世代、情勢などによって変化が必要です。いつも利用者の声を拾い上げてもらえると嬉しいです。	今回の見直しに至った経緯として、社会情勢の変化に応じた見直しが十分できていなかった反省があります。特にリサイクルショップは、新しい制度がより良いものとなるよう、定期的に見直しをしていきたいと考えています。	市民 アンケート	無
7	事業再構築案 (啓発事業など)	リサイクルプラザは高齢者の方が多い印象。若年世代も利用しやすいよう、またリサイクル品の情報が収集しやすいようにしてほしい。SNSでの発信も大事だが、そもそも開館している時間に行けないことも多い。ジモティなどの活用を促すのもアリかなと思う。	現在は、来所者層に偏りがあり、3Rの啓発という本来の効果が十分発揮できていない面があります。今回の事業再構築で、広い層に啓発が届くようにしたいと考えています。また、ご意見にあるような、民間サービスとの連携も導入を目指して検討してまいります。	市民 アンケート	無
8	事業再構築案 (制服リユース)	朝霞は子供が沢山いますので、幼稚園や中学校などの制服のリユース事業に力を入れてもらえたら嬉しいです。我が家にも転園で使わなくなってしまったまだ綺麗な幼稚園リュックや制服があります。制服類はメルカリやジモティーなどのアプリでも出品はほとんどないため需要はあると思います。	制服のリユース事業は、これまででも実施してきましたが、必ずしも使い勝手のよい形では実施できていませんでした。今後は、スクールグッズシェアリングに統合する方向で検討したいと考えております。	市民 アンケート	有
9	事業再構築案 (制服リユース)	制服のリユースをしてほしい。リユースは、各学校で、決まった日しかやっておらず、サイズも少なく中学で役員になるとかなり面倒。しかも、利用に人目があり抵抗がある。いつでも利用できれば、古着屋やセカンドストリート感覚、日時も気にせず利用できます。そのため、サイズもその日なくても、諦めがつきます。うちの娘は、1年で身長が8センチ伸びたので、ジャケットがサイズアウトしてしまいました。戸田では、成長にあわせて、リユース交換会が充実していると聞きました。是非、別の市の自治体のいいところを真似してほしいです	制服のリユース事業は、これまで学校単位で実施しており、その方法も学校によってまちまちでした。今回のご意見を踏まえ、今後はプラザで定期的に実施しているスクールグッズシェアリングに統合する方向で検討していきたいと考えております。	市民 アンケート	有

No.	分野	ご意見	市の考え・対応	区分	修正の有・無
10	事業再構築案 (リサイクルショップ)	とても良いシステムだと思います。ただ以前出品の利用をしていましたが、働いていらっしゃる年配の女性の方々がとても口うるさく利用をやめました。もう少し出品者の自由度を上げていただけるとより良いのではないかと思います。口うるさい年配女性に上から目線で色々言われる現状では若い人の利用者は増えないと思います。	出品ルールの制約は、一定の必要性から設定したものです が、それがリユースの妨げになっている側面もあります。詳細な見直し案の検討では、いただいたご意見を参考に、若い方でも利用しやすいような仕組みを検討してまいります。	市民 アンケート	無
11	事業再構築案 (リサイクルショップ)	リサイクルプラザ建設時と社会状況は大きく変わりました。当時は民間のリサイクルショップも少ない状況でしたが、現在は、既に民間事業者等がリサイクルショップ類似事業を担っています。多大な人材・費用を費やし、行政がリサイクルショップ事業を担う必要性はありません。 今後、リサイクルショップを新制度で常設フリマなどの営業と記載されていましたが、リサイクルショップという名称・業態とは切り離し、新たな発想で業務を行う方が良いと思います。常設フリマを例示していますが、利用者間で売買の伴わないシンプルな交換システムをWEB形態のあり方で提供する等の方が予算、マンパワーも最小限になるようなモデルを目指すのが良いと思います。	社会情勢の変化に事業が付いていけず、ニーズと大きく乖離している点を課題と捉え、今回の検討を行いました。また、ご意見にあるとおり、行政が多くのリソースを投入して漫然と事業を継続するような時代ではありません。 今回の案では、新たな事業形態の検討が十分できていませんが、実質的な目標として、人も予算も減らして、同等の効果を挙げることを掲げています。次年度の詳細な制度設計の際に、参考にさせていただきます。	職員 コメント	無
12	事業再構築案 (リサイクル家具)	リサイクル・リユースの視点は重要ですが、家具再生のために、シルバー人材センターに家具引取り・再生委託するまで必要のない方法を検討されたほうがよいと思います。 従来の枠組みで行おうとすると、シルバー人材センターとの関係も見直すことが困難になり、結局は従前どおりの枠組みで行わざるを得ないと思います。 修理を前提とせず、①で例示したようなWEB形態で情報交換できる仕組みづくりを検討されることを望みます。	今回の検討では、家具事業は事実上継続の形としています。 しかし、組合事業との重複があることも含め、再度検討が必要であると認識しております。令和12年度の新施設供用開始に向けて、いただいたご意見を踏まえて、最終的な方向性を検討してまいります。	職員 コメント	無